



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳で単身オーストラリアに留学。その後、ボンド大学を卒業し、QLD 州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。



インデックス

- 今月の名言 1-2
- 今月のジョーク 1
- 今月の視点
- 今月のジョーク 2
- 今月のコピペ
- ビザ新着情報 1-4
- 今月の名言 3-4
- 今月のジョーク 3
- 今月のお店紹介



<http://zoesangels.org/>
Go オーストラリアグループは、Zoe's Angels「Zoeの天使たち」を支援しています。

Go Australia
Visa Consultant

Go Australia Concierge

Go Australia
Business Solutions

Conveyancing Home
QLD

Shimizu Kokusai
Law Office



オーストラリアのエッセンスが 3 分でわかる

豪援隊かわら版

1 月号



今月の名言 其の壱

エイブラハム・リンカーン

出来るかと決断しなさい。
方法など後からみつければいいのだ。

今月の名言 其の弐

美輪明宏

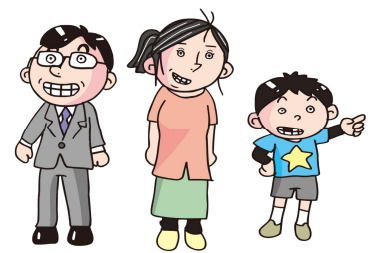
運が良くなりたければ、微笑んでいれば良い。
人に優しくすれば良い。思いやりと優しさで、運は開ける。



今月のジョーク 其の壱 - 嘘を見破るマシンと親子

(ジョーク集より)

嘘を見破り、その嘘つきを殴るという奇妙なマシンを父が買ってきた。そこで息子が、「僕はエロ本を持ってない」と言ってみると即座に殴られた。それを見た父が、「父さんが若い頃は勤勉でそんなもの持ってなかったぞ」と叱ると激しくぶん殴られた。それを見た母が「あらあら、やっぱり親子ね」と笑った瞬間母も殴られた。



今月の視点

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も引き続きよろしくお願いいたします。

皆様は、どのような新年をどこでお迎えになりましたでしょうか？筆者は、クリスマス暑いオーストラリアで迎え、新年を寒い日本で迎えるという、ある意味ぜいたくな年末年始となりました。その温度差 40 度近く、そんなこんなで日頃のご愛顧に感謝して、年末年始特別号です。

1. シドニーカフェ立てこもり事件

年末のオーストラリアを襲った一番の事件は、銃を持った男がシドニーの中心街にあるカフェで 18 人の人質をとって立てこもりをした事件ではなかったでしょうか。このニュースは世界中にテロ事件として報道され、改めてオーストラリアも混沌とする世界の一部であることを思い知らされた気がします。犯人はこれまでにオーストラリア国内でもいろいろと問題を起こしていた人物ではあり、同氏のような人物の身柄拘束に関する法律に関しての見直しが叫ばれているところです。事が起こってしまったからでは、「たられ」話にしかならないのですが、今後こういった事件が起こらないように、いかに再発を防止するか、検討していく必要はあります。そして、その必要性はもう国だけではなく、個人個人が考えなければいけない時代になったのではないのでしょうか。

この事件では 2 人の犠牲者が出ました。この方達はいつものように仕事に向かい、このカフェで働いていた、またはお客としてコーヒーを楽しんでいた人達です。もし、あなたがいつも行くカフェでお友達とお茶しているところに銃を持った男が襲ってきたら、どうしますか？恐らく、そんなことは今まで考えてこなかったでしょう。筆者の知り合いの方で、必ずどのようなお店に行っても外側、または出口に近い場所を選んで座ると言う方が居られたのを、ふと思い出しました。なぜ、その場所を選んで座るかという、その方曰く、何か問題が起こった時に出口に近い方が逃げやすいからという理由でした。その時は「ぴん」と来ませんでした、今回の事件を見て「なるほど」と思いました。それは、その方なりのリスク(危機)管理であって、これからの時代は守ってもらうことより、いかに自分個人で自分の身を守るということが重要になってくるということです。「夜間に一人歩きをしない。」「おかしい勧誘には応じない。」こうした当たり前のことが、より一層重要になってくる 2015 年だと思えます。

さあ、皆さん、こんなときこそ子供を抱きしめて、彼らが我々の未来であり、宝であることを伝えてあげましょう。本当の幸福はみなさんのすぐ近くにあります。

2. 暑いクリスマス

今年のオーストラリアの夏は暑いですね。40 度近い気温の日がざらにあります。そうかと思えば、正に文字通りバケツをひっくり返したかかのような雨が降る時もあります。夏休みで子供が家に居るというオーストラリアの家庭では、雨ばかりで子供を外で遊ばせることができず、家の中を走り回る子供達に大変だという声が聞かれます。おそらく、毎年同じことを繰り返していると思いますが、暑い夏のクリスマスは未だに慣れません。

最近クライアントの方々より、「オーストラリアってこんなに雨が多いのですか」、「こんなに暑いんですって」と、よく聞かれます。確かに異常気象なのかと思うような雨の多さや暑さですが、当方の経験からしますと 30 年近く前にオーストラリアに来た頃と似た気候に戻ったのではないかと考えています。当方が渡豪した当初はよく雨が降っていたという覚えがあります。そして、それが数年前までは、オーストラリアは乾燥のために水不足に悩まされ、汚水を濾過して再利用するという一手前まで追い込まれていたのは、まだ記憶に新しいところです。それが、今ではその逆で雨ばかりで困るということで、やはり人間は自然には敵わないことを改めて思い知らされます。

3. 寒いお正月

めったに雪の降らない当方の田舎でも正月は雪でした。ホワイトクリスマスならぬホワイトニューイヤーを迎えたわけです。今年の日本は、寒さが厳しい感じでしたね。(こちらに戻ってくると何だか人ごとに聞こえるかもしれませんが。)40 度近い気温のオーストラリアからの 0 度近い日本へは、やはりこたえますね。

4. お笑い万歳

特に日本のお正月番組を目にする機会が多かったせいかもしれませんが、改めて日本人の娯楽番組好きには関心しました。昨年の流行語大賞に選ばれた「ダメよー、ダメダメ」で時代の寵児となった日本エレキテル連合を、日本滞在中の数日間のうちに何度観たことか。。。

改めて思いましたが、日本のテレビ番組は面白いですね。オーストラリアでは、自国製作の番組を超える数のアメリカの人気ドラマやイギリスのコメディが幅をきかせていて、視聴率聴取を行わない年末年始の時期は、シーズンオフということで殆どが再放送番組のオンパレード。ただでさえ、いま一つ面白くないオーストラリアのテレビですが、益々その時期は面白くなります。

その点、年末年始のテレビ番組の充実したことと共なら、久々に日本で年末年始を過ごす人間からしますと、正に宝の山でした。その中でも、さんまさんは元気ですねえ。何だか、昔と全く変わらないように思えます。絶妙な話術とトークのテンポ、相手の話をうまく利用して笑いに持ち込む、そのテクニックは言葉のやりとりを商売とする我々にも大変勉強になります。

そんな、日本のお笑いのプロが日本では毎日のように活躍しています。テレビをつければ、毎日、毎晩「笑いの種」がごろがっているわけで、そんなところは日本人は幸せなのかもしれませんね。

5. 日本人人質問題

1 月に起こったもう一つの大きな事件と言えば、テロ組織イスラム国による日本人人質問題でしょう。日本人も、遂にテロの標的となる時代となりました。二人の日本人が、どのようにして拘束され、人質となったかは別として、言えることは、もう日本人だから大丈夫という事はありませんし、彼らの論理を理解するしないに関係なく、彼らは目的達成のためには方法を選ばないという事です。前述したように国レベルだけではなく、個人でのリスク管理がますます重要なご時世になりました。

6. おまけ

1 月 30 日は、クィーンズランド州議会の選挙でした。結果は、前回瀕死の労働党が議席数を 3 倍以上増やしての大勝利。財政再建の一環として公務員数の大幅カットや州資産売却を進めていた自由国民連立党は、クィーンズランド州民から、その方向性に「ノー」の宣告を受けた形です。昔から、気前のいい(?)労働党がつくる借金を(ケチな?)自由国民連立党が返済するという図式は国レベルでも州レベルでも相変わらずですが、ニューマン政権の独裁的な政治の進め方はオーストラリア人気質に合わなかったということでしょうか。強いリーダーが間違いなく必要なクィーンズランド州ですが、ブリスベン市長としての力量は評価されていたニューマン州知事も州政治においては、もう一つ力量を発揮できなかったようです。3 年という任期内で結果を出すのは、やはり難しいですね。

政権交代となったクィーンズランド州の政治や景気がどうなるのか楽しみですが、無駄をカットし、白馬の王子として迎えられる形となった労働党だけに、どのような政策を取っていくのかある意味楽しみ(?)です。

今月のジョーク 其の貳

痛みを分け合う出産とは？

一組の夫婦が、出産のために病院へ行った。病院に着くと医者は、陣痛の一部を父親に振りかける機械を発明したと言った。

その機械を使ってみないかと持ちかけられた夫婦は、二人そろってぜひ使ってみないと答えた。医者はまず最初に、つまみを 10%に合わせた。たとえ 10%でも、父親にとってはこれまで経験した事がないほどの痛みになるという。

ところが、出産が進んでも夫は何も感じないので、もう一段階あげて欲しいと医者をお願いした。医者は、それではと 20%に合わせた。医者は、夫の血圧と脈拍を調べたうえで、相変わらず元気ピンピンであることに驚いた。50%まであげても、依然ピンピンである。

これは明らかに妻の助けとなっている事で、夫は痛みをすべて自分に分け与えるよう、医者に頼んだ。妻はほとんど痛みもなく、健康な赤ちゃんを産んだ。夫婦は本当にワクワクした。何もかもがうまくいったかのようには思えた。ところが、夫婦が家に帰るとポーチで郵便配達人が苦悶の表情のまま死んでいた。

(ジョーク集より)



とある読者から頂いたコピペ

俺が結婚したのは20歳の頃だった。妻は21歳、学生結婚だった。二年程貧乏しながら幸せに暮らしていたが、ある時妊娠が発覚。俺は飛び上がる程嬉しくて一人ではしゃいでいた。「無茶はしないで」という妻の言葉も無視して次の日には退学届けを提出。叔父さんの経営している会社にコネで入れてもらった。とにかくやる気満々で、働きまくって子供を元気に育てるんだ！ってなもんだ。今考えても単純だったと思う。

けどそんな幸せも長くは続かなかった。その後しばらくして、交通事故で妻がお腹の子と一緒に死んだのだ。この辺りは本当に今でも良く思い出せない。何やら言う医者につかみかかって殴り飛ばしてしまったこと、妻を轢いた車の運転手の弁護士を殴り飛ばしたことはうっすら覚えている。無茶苦茶だった。それでも何とか葬式をすませ、手続きなんかもこなし、何日か実家で休んだ後家に戻った。

それからは日付の感覚もなく、ただ茫然としていた。テレビも見ず、ただ、米を炊いて食う、それだけの毎日だった。自分が鬱なのだとか、落ち込んでいるのだとか、そういう思考もなかった。自分でも状況がよくわかっていなかったのだと思う。何となく、カッターで指先を軽く切っては治るまで放置する、とかいう今思うとほとんど病気のようなことを繰り返していた。突然夜中に意味もなく涙がぼろぼろ出てきたりもした。死のうということすら思いつかなかった。

当時のことを友人や親に聞くと、様子伺いの電話などにはきちんと受け答えしていたというのだがあまり覚えていない。おそらくそんなこんなで半年は生活していたと思う。そんなある日、夢を見た。どんな夢だったかはほとんど覚えていない。とにかくひたすら謝っていたように思う。ふと目が覚めて、「ああ・・・何か悪夢をみたな」と身体を起こすと、目の前の光景に心臓が止まるかと思った。

目の前に小さな女の子がちょこんと座って俺を見ていた。「なんだこれは、夢か？まだ夢か？」そう思いながら自分の心臓の鼓動で視線がぐらつくのを感じた。とっさに水子の霊だと思った。死んだ俺の子が化けて出たんだと。その時が、はじめて自分の妻と子供が死んだとちゃんと認識した時だったように思う。その子が、「大人なんだから、ちゃんとしなきゃだめなんだよ！」と俺を叱りつけた。もう混乱に継ぐ混乱だ。汗なんかダラダラ出て、心臓麻痺で死ぬんじゃないかと思った。その時、部屋のドアから大慌てで隣の部屋の奥さんが入ってきた。「すみません！この子勝手にはいっちゃって・・・」そこでやっと現状を把握した。よくよく見れば、この子は隣の子供で、妻がいた頃は何度も会話を交わしたことのある子だった。ドアを開けっ放しにして寝ていた所に入ってきた実在の人間だ。幽霊じゃない。「ああ、違うのか」と思った瞬間、何だか目の前の幕がはがれたような感じで、俺はその子にしがみついて号泣していた。「すみません」と「ありがとうございます」を意味不明に連発していたと思う。

後から聞いた話では、そこの一家は引き籠もっていた俺のことを心配してくれており、何度も夫婦で何をしてあげたらいいか、と相談していたらしい。その相談を一人娘のその子は聞いていて、落ち込んだ大人を励ましてやろうと活を入れにきたらしい。すごいやつだ。

とにかく、その日がきっかけで俺はカウンセリングに通い、二ヶ月程で何とか職場復帰することができた。届けも出さず休んでいた俺を休職扱いにしてくれていた叔父には本当に感謝している。隣の夫婦とも仲良くなり、寝起きの悪い旦那を起こしてくれ、とか言う無理のある理由で毎朝家に呼ばれ、朝飯をゴ馳走になった。とにかくもう俺の周りの人間が神級に良い人達だった。俺は救われたし、妻と子供の死をちゃんと悲しむことができた。

で、その娘さんが先月結婚した。(すでにその隣室の親子はマイホームを建て引っ越していったが未だに仲良くしてもらってる。)親戚が少ないから、とか言う理由で式にまで俺が呼ばれ、親族紹介のあとその子と話す時間があつた。俺とその子は口が悪い感じの関係で(15も年が離れているのに)、その日もあまりにも綺麗になったその子に動揺して「オメーもまだ18才なのに結婚しちゃってもったいないな」などと俺が言うと笑いながら「寂しいのか、あんた？w」などと言いやがるので「寂しいよ！」と言ってしまった。「俺は昔、お前に助けてもらった。お前のお父さんとお母さんにも助けてもらった。だからお前のこと大好きだ。だから寂しい！」とまくし立てるとまた号泣していた。30過ぎたおっさんがヒックヒック言いながら花嫁の前で号泣だ、かなり恥ずかしい。気づくとその子も大泣きだ。新郎側はびっくりしただろうな。親以外のおっさんと新婦が大泣きしてるんだから。

俺は今でも結局独り身だが、その子が困ったら何が何でも助けてやろうと思っている。恥ずかしいのでその子には言わないけどな。もう俺にとってはあの子は自分の娘みたいなものなのだ。俺の二人目の子供だ。本当に、ありがとう、ありがとう。いつまでも幸せにな。

ビザ新着情報 其の壱 パートナービザ申請料

2015年1月1日より、パートナービザ(サブクラス 309/100、820/801)、ならびに婚約ビザ(サブクラス 300)のビザ申請料が値上がりとなりました。

<オーストラリア国外申請>

ビザの種類	ビザ申請者 本人	付随申請者 18歳以上	付随申請者 18歳未満
Partner 309/100	\$4630	\$2320	\$1155
Prospective Marriage 300	\$4630	\$2320	\$1155

<オーストラリア国内申請>

ビザの種類	ビザ申請者 本人	付随申請者 18歳以上	付随申請者 18歳未満
Partner 820/801	\$6865	\$3435	\$1720
Partner 820/801 ※300保持者	\$1145	\$575	\$285

<注>

- ◆ 現在、ビザ申請後、ビザが取得できるまでに平均12-15ヶ月かかるとされています。
- ◆ ビジネスビザ(サブクラス457)や学生ビザ、その他一時滞在ビザに、配偶者やパートナー(De Facto)として含める申請は、上記パートナービザとは異なります。

ビザ新着情報 其の貳 一日豪 EPA 発効

昨年結ばれた日豪掲載連携協定(EPA)が2015年1月15日から発効されましたが、それに伴い、ビジネスビザ(サブクラス 457)申請の際、一部の職種で必要とされていた労働市場調査(Labour Market Testing)が免除されることとなりました。

- ◆ビザ申請者が日本国籍を保持していること、または
- ◆日本にある企業で雇用されている労働者で、オーストラリア支部(支店)への人事異動であること

ビザ新着情報 其の参 南オーストラリア

2015年3月15日以降、南オーストラリア州ノミネーションによる以下のビザに対し、ノミネーション費用が課せられることとなります。

	申請の種類	費用
技術移住	State nominated skilled – 190 permanent	\$200
	State nominated skilled – 489 regional provisional	\$200
ビジネス移住	Business 188 provisional	\$500
	Business permanent 888/892/893	\$750
	Business 132 permanent	\$750
	Business retiree 405	\$500
州政府職員	Employer Nominated – RCB advice by State Government agency	NIL

ビザ新着情報 其の四 上級投資家ビザ(SIV)

事業主・投資家ビザ(サブクラス 188 Business Innovation and Investment visa)のうちの一つ、上級投資家ビザ(Significant Investor visa 暫定4年間)を経て、サブクラス 888の永住権を申請する際、申請条件にオーストラリアでの最低居住期間(Residency Requirement 4年間で計160日間)というのがあります。2015年7月1日以降の申請より、この最低居住期間の条件が以下のように変更となります。

- ◆1年につき40日以上(ビザ申請者本人)、または、180日以上(ビザ申請者の配偶者)の居住期間がある
- ◆その他付随する家族の居住条件は無い
- ◆1年毎に計算され、4年で合計160日以上(ビザ申請者本人)、または、720日以上(ビザ申請者の配偶者)の居住期間がある

今月の名言 其の参

楽しいから笑うのではない。
笑うから楽しいのだ。

笑顔

ウィリアム・ジェームズ

今月の名言 其の四

今、この瞬間から別の行動を起こせば、未来は変わっていく。この瞬間から違うことすれば、未来なんて変わるんだ、そう思う。
北野武

今月のジョーク 其の参 弁護士ってすばらしい

弁護士の妻の墓に書かれた文句

弁護士の妻が死んで墓が作られた。

『弁護士ウィリアムの妻
フィリスここに眠る

--遺言・離婚の手続きは
ウィリアム法律事務所に
おまかせ』



本文と画像は関係ありません(笑)

そんなことが書かれた墓石を
見てウィリアムは叫んだ。

「なんてことしてくれたんだ！こんな書き方ないぞ！」

隣にいた彼の事務員が言った。「ひどいですねえ、これは本当に」

「ひどすぎる！電話番号が抜けているじゃないか！！」

(ジョーク集より)

今月のお店紹介

チャイナタウンで有名なブリスベン、
フォーティチュードバレーにある
“餃子バー庵”

エンポリウム内にあり、餃子好き、
日本食好きなローカルで毎日賑わい
を見せています。その名のとおり、
一番のお勧めは6種類からなる
オリジナル餃子(ポーク餃子、チキン
餃子、スパイシー餃子、ベジタブル
餃子、エビ餃子、シーフード餃子)。



ブリスベンに行かれた際は、是非お立ち寄りください！



Gyoza Bar ANN (庵)

Shop26, 1000 Ann Street
Fortitude Valley QLD
Tel: 07-3172-3020

www.facebook.com/GyozaBarAnn

<営業時間>

ランチ: 月~木 11.30-14.30 / 金~日 11.30-15.00

ディナー: 月~水 18.00-21.30 / 木~土 18.30-22.00

Go Australia Visa Consultant

ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

ブリスベン事務所

Level 2, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)

日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com